

食育ってなあに?

私たちが心身ともに健やかで、生涯にわたり、いきいきと暮らすためには、何よりも「食」が大切です。

しかし、ライフスタイルの多様化や食の多様化が進み、子どもの朝ごはんの欠食や孤食、伝統的な食文化の衰退、食の生産現場と食卓の乖離、食の安全の確保など、食をめぐり様々な問題が生じています。

これらの解決に向け、私達1人ひとりが食べることの意味を理解し、自らの健康を自分で守り、豊かな食生活を営むことができる能力を育むことが「食育」です。

県では、第4次三重県食育推進計画を策定し、家庭から学校、職場も含めた地域の中で、**生涯を通じた切れ目のない取組**を推進しています。この計画では、今まで実施してきた取組に加えて、災害を意識した食の備えやエシカル消費の啓発、持続可能な生産・資源管理の普及、食品ロス削減などにも取り組むこととしています。



みえの食育

第4次三重県食育推進計画×SDGs

2015年に国連で採択された、「2030年までに達成をめざす17の持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、食育の推進が果たす役割に期待が寄せられています。

第4次三重県食育推進計画では、これまで行ってきた取組とその成果や、SDGsの考え方を踏まえ、「生活」「地域」「環境」の3つの観点から「みえの食育」に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。



豊かな「生活」を支える 食育の推進

- 家庭での取組
- 学校、幼稚園および保育所等での取組
- 多様なつながりによる取組

豊かな「地域」を支える 食育の推進

- 農林水産業の理解を深める取組
- 市町食育推進計画の作成支援

豊かな「環境」を支える 食育の推進

- 環境に配慮した食料生産と消費に向けた取組

食育ピクトグラム

食育ピクトグラムは、SDGsと食育の関連性をわかりやすく伝えるために、農林水産省が作成したマークです。食育ノートでは各項目にピクトグラムを表示しています。



共食

家族や仲間と、会話を楽しみながら食べる食事は、心も体も元気にします。



朝食欠食の改善

朝食の摂取は、健康的な生活習慣につながります。



栄養バランスの良い食事

主食・主菜・副菜の組み合わせた食事で、バランスの良い食生活になります。



生活習慣病の予防

適正体重の維持や減塩に努めて、生活習慣病を予防します。



歯や口腔の健康

よくかんで食べることにより歯の発達・維持、食べ物による塞塞を防ぎます。



食品安全

食品の安全性等についての基礎的な知識をもち、自ら判断し行動する力を養います。



災害への備え

いつ起こるかも知れない災害を意識し、非常時のための食料品を備蓄しておきましょう。



環境への配慮(調和)

環境に配慮した農林水産物・食品を購入したり、食品ロスの削減を進めたりします。



地産地消等の推進

地域でどれた農林水産物等を消費することは、地域経済の活性化、環境負荷の低減につながります。



農林漁業体験

農林漁業を体験して、食や農林水産業への理解を深めます。



日本の食文化の継承

地域の郷土料理や伝統料理等の食文化を大切にして、次の世代への継承を図ります。



食育の推進

生涯にわたって心も身体も健康で、質の高い生活を送るために「食」について考え、食育の取組を応援します。